

長い夏休みを終え令和 7 年度 2 学期が始まりました。皆さんは今日からの学校生活に向けて充実した夏休みが過ごせたでしょうか。部活動を頑張った人、地域での活動に積極的に参加した人、家庭での手伝いをやり抜いた人、高校入試に向けて勉強に力を入れた人など様々だと思います。

さて、先生は本を読むことが好きですが、この夏に読んだ本に非常に印象的な一節がありました。それは、イギリスの哲学者ジェームズ・アレン氏のお話です。少し長いですがしっかり聞いて下さい。

「人間の心は、庭のようなものです。それは知的に耕されることもあれば、野放しにされることもあります。そこからは、どちらの場合にも必ず何かが生えてきます。

もしあなたが自分の庭に、美しい草花の種を蒔かなかったなら、そこにはやがて雑草の種が無数に舞い落ち、雑草のみが生い茂ることになります。優れた園芸家は、庭を耕し、雑草を取り除き、美しい草花の種を蒔き、それを育み続けます。

同様に、私たちも、もし素晴らしい人生を生きたいのなら、自分の心の庭を掘り起こし、そこから不純な誤った思いを一掃し、そのあとに清らかな正しい思いを植え付け、それを育み続けなければなりません。」

終わりにあった『**自分の心の庭を掘り起こし、そこから不純な誤った思いを一掃し、そのあとに清らかな正しい思いを植え付け、それを育み続けなければなりません。**』とは、どういうことでしょうか。」

これこそが、これまで皆さんにお話をしてきた『自律』であり、『利他』になります。所謂、『自律は、正しい行動を選択し実践すること』であり、『利他は、情けは人の為ならず 人のために生きる八頭中生』です。

改めて、2 学期が始まった今から、周りの仲間や先生の思い、お家の方や地域の方の願いを感じながら、授業に臨む態度や行事に取り組む姿勢など、日々の生活の一つ一つを「『**仲間のための自律した行動とはどのような行動か**』を考えて実践してほしい」と願っています。